

カスタマーハラスメント(カスハラ)について

令和七年六月四日に成立した改正労働施策総合推進法により、従業員をカスハラから守るための雇用管理上の措置を講じる義務が課されました。そのため、抱民舎でも必要な対策を講じる為、マニュアル作成や職員への研修等を行っていくことを決めていきます。令和八年十月一日の施行に向けて準備をしていくことになりました。具体的には次の通りです。

組織として「対応方針」を明確にする

- ・利用者や家族からの不当要求・暴言などにどう向き合うか、事業所としての基準を決めておく
- ・職員が迷わず対応できるよう、ルールを文書化して共有する

職員を守る仕組みをつくる

- ・一人で抱え込まないよう、複数名で対応する体制を整える
- ・記録を残す仕組みを徹底し、問題が起きたときに組織として支援できるようにする

利用者・家族への説明を丁寧に行う

- ・サービス内容や限界、できること・できないことを事前に明確に伝える
- ・誤解や不満が生まれにくい環境をつくる

職員のメンタルケアと研修

- ・カスハラを学ぶ研修に参加させる
- ・ストレスを抱えた職員をサポートする相談体制を整える

外部機関との連携

- ・顧問社会保険労務士等と連携し、その事象がハラスメントとして判断した場合は、断固たる対応を行うものとし、必要に応じ警察等へも相談対応させていただきます。

カスハラを防ぐには、利用者も提供者もお互いを思いやり、丁寧な言葉づかいと冷静な対応を心がけることが大切です。完璧を求めすぎず、協力して気持ちのよいサービス環境をつくっていく姿勢を持っていきましよう。(N・N)



【新職員の紹介】

新職員の方に「質問」してみました。

質問(一) 抱民舎に入職して驚いた事
質問(二) 抱民舎に入職して良かった事
質問(三) 抱民舎に入職して良かった事
質問(三) 抱民舎に入職して良かった事

生活支援員 山形 米子

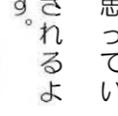


答え(一) 友達の友達や以前の職場の同僚が働いており、びっくりしました。

答え(二) 仕事をしやすい様に色々配慮してくれている事があります。

答え(三) みんなから信頼されるようになったので。

答え(一) 佐藤 紘貴

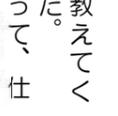


答え(一) 利用者さんの元気な姿に驚きました。

答え(二) やさしく仕事を教えてくれる事が良かった。

答え(三) 元気に毎日頑張っていて、仕事をしたいです。

生活支援員 石岡 慶一



答え(一) 私も障害を持っており利用者さんの中には私と同じ障害を持っている人もいて、違う障害をもっていることに驚きました。

答え(二) 知らないことばかりだったけど、スタッフの皆さんから少しずつ教えてもらい勉強になりました。

答え(三) もっと色々な事を学び、自分の健康管理も気をつけてできるだけ長く働けるようになりたいです。

🍵 よろしく願いいたします。 🍵

保健だより

【感染予防について】

皆さまこんにちは。私は『であいの家あうん』で看護師をさせて頂いている「三上靖子」と申します。このたび感染予防について少しお話させていただきます。

感染経路は、空気中に漂っている目に見えない物が咳、くしゃみなどで飛ばされ、手・体などに触れて感染(飛沫感染)があります。

感染対策の基本は、病原体の排除(持ち込まない・持ち出さない・広げない)にあり、まず一番使う手の洗浄、口腔内、喉をうがい、洗い流す事をまめに行う事でだいぶ防げると思われます。ちなみに、緑茶でうがいをすると効果的です。

まだまだ、コロナウイルス・インフルエンザ、百日咳など流行っている様なので、栄養をしっかりと摂り、暖かくしてお過ごし下さればと思います。

「ありのままの表現展」

出展作品のご紹介



青森県立美術館にて二月七日から十五日まで開催されています。「ありのままの表現展」にあうんの平山瀬偉さんとあうんIIの坂本浩大さんの作品が展示されています。私たちも嬉しい気持ちで、ご本人へお伝えすると「やったー」と喜んでいました。そこで、お二人の作品作りの様子をご紹介します。まず、平山瀬偉(ひらやま らい)さんです。瀬偉さんの作品は『岩木山』です。今年の目標は、「作品展に出展しよう」と決め取り組みました。瀬偉さんから「紙粘土で作ってみたい」とリクエストがありました。購入しました。何にしようかな?と迷いながら小さく丸めた粘土を重ねていると、たまたま山の形が出来ていたので、スタッフが「岩木山みたいだね」と言うので「それ、それだ!」となり、テーマが決定。朝一番で来所され、作品作りが始まりました。始めは小さな山でしたが、どんどん大きくなっていき、二ヶ月かけて雄大な岩木山が完成しました。完成した作品はたくさんの方に見ていただきましたので、あうんの玄関に展示しました。来訪者から「すごい、これは利用者さんが作ったんですか?」「岩木山さんだ、迫力があっていいですね」という嬉しいお言葉を頂戴しました。瀬偉さんとても嬉しそうなお表情でした。

続いては、坂本浩大(さかもと こうだい)さんのご紹介です。浩大さんは、絵具や墨を使用して大きなキャンパスでも、小さなキャンパスでもご自身の創作力を存分に発揮できるアーティストです。大きな段ボールに描いた巨大な魚は圧巻で、絵具の色が塗り重ねられ、どんな変化していくので完成するまで目が離せない作品でした。絵具の作品は大きめの作品が多く、とってもカラフルで元気の出る色を使うのが特徴です。また、墨で描く時は、ほっこり可愛らしい作品で、スタッフの顔もよく描いてくれます。私の顔を描いてくれた絵は大事に飾らせていただいています。今年度、初めての出展となり、初めは「ありのままの表現展」ですが、来年の作品もたくさん出展できるように活動に取り組みたいと思います。(N・N)

輝け!! 明日へ向かって

2026年2月11日発行
社会福祉法人 抱民舎

〒036-1312 弘前市大字高屋字安田735番地の3
TEL:0172-82-6060 FAX:0172-82-6061
https://houminsya.com/



餅つき会

十二月十七日、毎年恒例の餅つき会を行いました。理事長と男性スタッフがこねたもち米を、利用者みんなで交代でついていきます。重い杵を飛び交い、和気あいあいと行うことが出来ました。「そーれ」と頑張った後のお雑煮はとても美味しく、皆でたくさん食べました。



クリスマス会

十二月二十五日にはクリスマス会を行いました。マフィンに生クリームとバナナを思い思いにトッピングした後はプレゼントを選びます。天井にぶら下がったくじに書かれた番号のプレゼントが貰えるので、くじを見つめる皆の表情は真剣そのもの。中にはハズレも紛れ込んでいて何度も引く人もいましたよ。笑顔溢れるクリスマスになりました。(M・S)



放課後等デイサービス
ワラハンドクラブ・キキ

地域訪問

「自分たちの町探検」

キキでは、地域交流の一環としていつもお世話になってる施設等を訪問してきました。駐在所や消防の方たちと交流することで将来の地域での生活がイメージでき、必要な時に頼れる場所になればと思います。

勤労感謝の日



折り紙の花束やメッセージカードを制作し感謝の気持ちを綴り、弘前消防署西分署・岩木駐在所・岩木山総合運動公園・岩木図書館に届けてきました。並び少し緊張した様子でありましたが、代表者が感謝の言葉を述べ、感謝状を読み手渡しました。こども達は元氣いっぱい、「いつもありがとうございます」と声を揃えて感謝の言葉を伝えることができました。身近な人に対して感謝の気持ちを深めたり、働くことへの理解を深めるきっかけになったと思います。また、地域の方々からは、仕事のお話や設備を体験させていた地域そのものが安全・安心してくれたいと思えます。(H・S)



就労継続支援B型

ゆいまある

ゆいまあるは、毎月一回から二回弘前市役所でアンテナショップを開いています。季節に応じたパンを紹介しながら、利用者とスタッフが一緒に販売しています。アンテナショップ開催の際には、Facebookに毎回お勧め商品の紹介をUPしています。利用者さんが、スタッフと相談しながら作らせていただきますね！



みなさんに喜んでいただけるようこれからも投稿頑張ります！

昨年十一月には、岩木庁舎での販売も始まりました。たくさんのお客様にご来店頂き、一時間で完売しました！地域の方々に、これからゆいまあるのパンを紹介していきます。



今月のお勧めはアップルパイかな♡
私が作っています！
いいですね！
今年十一月には、岩木庁舎での販売も始まりました。自家製パイ生地サクサク感と、提携農家様から仕入れた紅玉の瑞々しい甘酸っぱさを是非ご賞味ください。(T・O)